製品名: 脂肪酸合成酵素ウサギモノクローナル抗体
カタログ番号: AMRe21309
研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:273kD;Observed MW:273kD

抗原情報

遺伝子名	FASN
別名	FASN;FAS;Fatty acid synthase
遺伝子 ID	2194
SwissProt ID	P49327
免疫原	ヒト脂肪酸合成酵素の合成ペプチド

背景

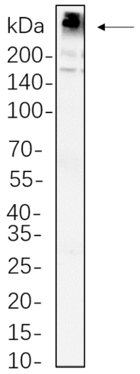
細胞局在：細胞質。この遺伝子によってコードされる酵素は多機能タンパク質である。その主な機能は、NADPH 存在下でアセチル

CoA とマロニル CoA からパルミチン酸を合成し、長鎖飽和脂肪酸を合成する反応を触媒することである。一部の癌細胞株では、このタンパク質がエストロゲン受容体 α（ER-α）と融合していることが見出されており、FAS の N 末端が ER-α の C 末端とインフレームで融合している。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



A549 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を脂肪酸合成酵素ウサギモノクローナル抗体（1:1000）でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。